

## 機体活用プロジェクト『空恋』

# 「天孫降臨ひむか共和国号」就航決定！

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋 洋)で取り組む機体活用プロジェクト『空恋～空で街と恋をする～』におきまして、宮崎県北部広域行政事務組合(9 市町村)の「天孫降臨ひむか共和国号」が、7 月 11 日(金)\*に初フライトを迎えます。

初フライト当日は、宮崎空港において、就航記念セレモニーを 56 便(宮崎発 11:55 羽田着 13:30) 出発前に予定しております。 \*就航開始日は機材状況等により前後する場合があります。予めご了承ください。



機体活用プロジェクト“空恋”  
「天孫降臨ひむか共和国号」

宮崎県北部に位置する延岡市・日向市・門川町・諸塚村・椎葉村・美郷町・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町の 9 市町村を「天孫降臨ひむか共和国」と称し、観光・食・癒しスポットなど宮崎県北部地域のたくさんの魅力を、当プロジェクトを通じて PR します。

また、シンボルマーク“himuka”は、h=天岩戸、i=えんとつ、m=森林・山、u=九州山地の溪谷、k=木材・山の幸、a=川・海の幸、といったように、アルファベットに宮崎県北部地域の特徴を盛り込んだデザインになっています。

ソラシド エアの機体活用プロジェクト『空恋』は、地域振興を目的としています。1 年間機体側面に九州・沖縄の地名を表示すると共に、機内では各自治体独自の方法で PR していただきます。多くのお客様に、ソラシドエアの空の旅を通じて、“天孫降臨ひむか共和国(宮崎県北部地域)”と出会い、その魅力を感じていただければ幸いです。

ソラシド エアでは、“空から笑顔の種をまく。”のブランドコンセプトのもと、今後とも「九州・沖縄の翼」としてより一層地域のみなさまとの絆を深め、九州・沖縄にはなくてはならないエアラインへと成長してまいります。

スカイネットアジア航空株式会社